

集中治療部

1 構成員

	平成21年3月31日現在
教授	0人
准教授	0人
講師（うち病院籍）	1人（1人）
助教（うち病院籍）	2人（2人）
助手（うち病院籍）	1人（1人）
特任教員（特任教授，特任准教授，特任助教を含む）	0人
医員	3人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	0人
その他（技術補佐員等）	0人
合 計	7人

2 教員の異動状況

- 土井 松幸（講師）（H5. 8. 1～現職）
 足立 裕史（助教）（H17. 9. 1～H19. 3. 31助手；H19. 4. 1～現職）
 小幡由佳子（助教）（H18. 4. 1～H19. 3. 31助手；H19. 4. 1～現職）
 板垣 大雅（診療助教）（H21. 3. 1～現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成20年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	1編（1編）
そのインパクトファクターの合計	0
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	2編（2編）
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	2編（2編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	19編（16編）
そのインパクトファクターの合計	4.0

- (1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

- (1) 足立裕史*, 牧野洋, 三条芳光, 佐藤重仁 血液型と出血量との関係-当院における15,857症例の解析- 日臨麻会誌 2008; 28: 929-34. 【麻酔・蘇生学】

インパクトファクターの小計 [0.00]

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 土井松幸: 術後の輸液管理: 麻酔終了時の患者の状態を理解しよう. LiSA 16: 24-29, 2009 【集中治療医学】
2. 土井松幸: ICUでの一般的な鎮静薬の使い方. 鎮静・鎮痛管理Q & A. 救急・集中治療 21: 291-295, 2009 【集中治療医学】

インパクトファクターの小計 [0.00]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 足立裕史, 白石義人 ed. By 松田捷彦 心拍出量測定装置 in オペネーシング2008年秋季増刊 実践心臓血管外科手術マニュアル 2008 メディカ出版 大阪 217-22.
2. 足立裕史, 土井松幸 ed. By 岡元和文 重症筋無力症の呼吸管理 in エキスパートの呼吸管理 2008 中外医学社 東京 351-6.

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

- (1) 足立裕史, 鈴木かつみ, 小幡由佳子, 西野淳子, 望月利昭, 土井松幸, 佐藤重仁 重篤な熱射病から肝不全に至った一症例 日集中医誌 2008; 15: 237-8. 【麻酔・蘇生学】
- (2) 足立裕史, 水野香織, 鈴木かつみ, 小幡由佳子, 土井松幸, 佐藤重仁 プロポフォルを用いた麻酔中, BIS値が10まで低下した1症例 麻酔 2008; 57: 728-30 【麻酔・蘇生学】
- (3) 足立裕史, 鈴木かつみ, 小幡由佳子, 土井松幸, 佐藤重仁 術後の覚醒時, フルマゼニルの投与によって再び就眠を来した1症例 麻酔 2008; 57: 901-3. 【麻酔・蘇生学】
- (4) 足立裕史, 高木佑葵紀, 成瀬智, 鈴木かつみ, 小幡由佳子, 土井松幸, 佐藤重仁 頭部外傷後のリハビリテーション中, 高血糖昏睡, ショックとなり救命し得なかった1症例 蘇生 2008; 27: 138-40. 【麻酔・蘇生学】
- (5) Adachi YU, Suzuki K, Itagaki T, Obata Y, Doi M, Sato S. Radial artery canulation using the Insyte-A holding the device in cigarette-style. J Anesth 2008; 22: 331-2. 【麻酔・蘇生学】
- (6) Adachi YU, Suzuki K, Itagaki T, Obata Y, Doi M, Sato S. A recommended solution for avoiding coring of a rubber stopper. Anesth Analg 2008; 107: 1084. 【麻酔・蘇生学】[IF: 2.2]
- (7) 足立裕史, 鈴木かつみ, 板垣大雅, 小幡由佳子, 土井松幸, 佐藤重仁 側臥位手術の上側耳下腺に生じたanesthesia mumps 麻酔 2008; 57: 1150-2. 【麻酔・蘇生学】
- (8) 足立裕史, 佐野秀樹, 鈴木かつみ, 板垣大雅, 土井松幸, 佐藤重仁 エコーガイド下中心静

- 脈穿刺に際し、動脈壁在血栓が障害となった1例 臨床麻酔 2008; 32: 1551-3. 【麻酔・蘇生学】
- (9) 足立裕史, 佐藤重仁 意図的な硬膜下麻酔と作用発現までの時間 臨床麻酔 2008; 32: 1555.
- (10) 足立裕史, 河野伸一, 小島康裕, 佐藤重仁 挿管困難で気管粘膜下腫瘍を疑った1例 臨床麻酔 2009; 33: 105-7. 【麻酔・蘇生学】
- (11) 足立裕史, 山口昌一, 中島芳樹, 五十嵐寛, 佐藤重仁 アミトリプチリンとパロキセチンとともにセロトニン症候群が生じたと考えられた1例 日本ペインクリニック学会誌 2009; 16: 23-25. 【麻酔・蘇生学】

インパクトファクターの小計 [2.2]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

- (1) 奈尾幸子, 足立裕史, 佐藤重仁 B型肝炎キャリアの肝炎期に発見されたクッシング病患者の麻酔経験 麻酔 2008; 57: 745-7. 【麻酔・蘇生学】
- (2) Obata R, Obata Y, Adachi YU, Sato S. Successful intubation in a patient with extreme lingual tonsil hypertrophy using an intubating laryngeal mask. Acta Anaesthesiol Scand 2008; 52: 1030. 【麻酔・蘇生学】[IF: 1.8]
- (3) 小幡良次, 小幡由佳子, 足立裕史, 鈴木かつみ, 板垣大雅, 佐藤重仁 抜管直後に著しい低酸素血症を認めた1例 臨床麻酔 2008; 32: 1243-4. 【麻酔・蘇生学】
- (4) 板垣大雅, 足立裕史, 鈴木かつみ, 小幡由佳子, 土井松幸, 佐藤重仁 内頸静脈からの中心静脈カテーテル留置に際して血胸を合併した小児症例 臨床麻酔 2008; 32: 1423-5. 【麻酔・蘇生学】
- (5) 成瀬智, 足立裕史, 高田浩太郎, 佐野秀樹, 鈴木かつみ, 小幡由佳子, 土井松幸, 佐藤重仁 右胃大網動脈冠動脈バイパス術後の胃切除に際し術後に重篤な不整脈を生じた2症例 麻酔 2008; 57: 1147-9. 【麻酔・蘇生学】
- (6) 鈴木かつみ, 足立裕史, 小幡由佳子, 北原晃一郎, 土井松幸, 佐藤重仁 オランザピンの偶発的休薬中に重度の糖尿病性ケトアシドーシスをきたした一症例 日集中医誌 2008; 15: 567-8. 【麻酔・蘇生学】
- (7) 小幡良次, 足立裕史, 五十嵐寛, 鈴木明, 小幡由佳子, 土井松幸, 佐藤重仁 舌扁桃により挿管困難, マスク換気困難となった肥満患者の麻酔経験 麻酔 2008; 57: 1269-72. 【麻酔・蘇生学】
- (8) 内崎紗貴子, 板垣大雅, 鈴木かつみ, 足立裕史, 小幡由佳子, 佐藤重仁 ドレッシング交換時の疼痛をレミフェンタニルでコントロールした小児熱傷症例 臨床麻酔 2008; 32: 1855-7. 【麻酔・蘇生学】

インパクトファクターの小計 [1.8]

4 特許等の出願状況

	平成20年度
特許取得数（出願中含む）	0件

5 医学研究費取得状況

	平成20年度
(1) 文部科学省科学研究費	2件 (293万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他(民間より)	0件 (0万円)

(1) 文部科学省科学研究費

1. 一酸化窒素の非シナプス型神経伝達に注目した麻酔薬の作用機序の解明
2. エバネッセント蛍光を利用した血中微量物質定量法の開発

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	1件
(2) シンポジウム発表数	0件	0件
(3) 学会座長回数	0件	3件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	3件
(6) 一般演題発表数	2件	

(1) 国際学会等開催・参加

5) 一般発表

ポスター発表

- (1) Adachi YU, Itagaki T, Obata Y, Shiraishi Y, Sato S. Pentobarbital-induced reduction of nitric oxide in the rat brain striatum was antagonized by nicotine and NMDA. Euroanaesthesia 2008, The European Anaesthesiology Congress, 1st June 2008, Copenhagen, Denmark. Eur J Anaesthesiol 2008; 25: 44: Supple 129-30. 9AP2-7.
- (2) Adachi YU, Kimura K, Mimuro S, Doi M, Sato S. Propofol-induced reduction of nitric oxide in rat brain was antagonized by neostigmine and arginine. American Society of Anesthesiologists, Annual Meeting, 21st Oct, 2008 Orlando Florida. Anesthesiology 2008; A1522.

(2) 国内学会の開催・参加

2) 学会における特別講演・招待講演

土井松幸：Dexとハサミは使いよう－使いこなすための留意点 日本集中治療医学会近畿地方会 6月28日，2008年

4) 座長をした学会名

日本麻酔科学会第55回大会 6月12日, 2008年

第16回日本集中治療医学会東海北陸地方会 教育講演 7月5日, 2008年

第36回日本集中治療医学会学術集会 2月26日, 2009年

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリース数は除く）	0件	0件

(3) 国内外の英文雑誌のレフリース

2件 Journal of Clinical Anesthesia (USA)

2件 Journal of Anesthesia (日本)

9 共同研究の実施状況

	平成20年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成20年度
産学共同研究	0件

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. マイクロダイアリシス法を用いた脳内一酸化窒素濃度測定

無麻酔非拘束条件下のラットに対して、in vivoマイクロダイアリシス法を用いて脳内（線条体）の一酸化窒素濃度を測定する実験系を確立した。この系を用いて代表的な静脈麻酔薬であるプロポフォールが一酸化窒素の放出を抑制する他、この作用が他の吸入麻酔薬と共通するGABA作動性神経系の活性化、NMDA作動性神経系の抑制によって生じている可能性を確認した。

また、一酸化窒素のドナーとして代表的なニトログリセリンにも、中枢神経系で遺産化窒素の放出を促進している可能性を発見した。

2. 低容量ランジオロールの抗不整脈作用の証明

手術後のストレスの大きな状態にある患者に対して新しい交感神経の遮断薬であるランジオロールを少量投与し、その効果を検討した。12誘導間のQTディスパーションを評価の指標とすることで、ランジオロールの有効性を証明し、抗不整脈作用を臨床的に得られる可能性を発見した。

3. プロポフォールの製剤に関する、濃度差と薬効の比較検討

プロポフォールは広く臨床に用いられているが、麻酔導入時に、就眠までに必要とする量を3

種類の製剤で比較し、明らかな差異がある事を発見した。

14 研究の独創性、国際性、継続性、応用性

1. 無麻酔非拘束条件下の動物に対して麻酔を施行して、その変化を観察する実験は技術的な制約もあり、本研究は独創的な内容である。著者らはこれまでも多くの報告を英文誌に発表しており、研究の成果は国際的な水準にある。今後も、一酸化窒素を中心とした神経伝達物質の恒常性維持の機序について、麻酔との作用を中心に研究を継続する予定である。特に、近年ニコチンが視床への直接投与によって麻酔作用を拮抗する可能性が報告されており、臨床的な応用に関してはさらに多大な研究を要するが、徐々に麻酔薬の作用機序に迫ることが出来ると考えられる。
2. ランジオロールは本邦で開発された薬剤であり、集中治療領域への適応は最近始まったばかりである。薬剤の有用性に関する情報は極めて限られており、我々の研究は優れた薬剤の新しい応用、適切な投与方法の普及に繋がると考えられ、臨床的なメリットが非常に大きいと思われる。
3. プロポフォールは開発から25年が経過し、様々な製剤が用いられるようになった。しかし、それら製剤の薬効に関する比較検討はまだまだ限られている。今回の研究は、近年、政策的にも取り組みが推し進められているジェネリック医薬品の使用全般に通じる知見を含んでおり、医学的な点のみならず、医療政策的な点からも大変有用と考えられる。